

# 真実のガン治療に向けて VI

## 医師 鶴見隆史



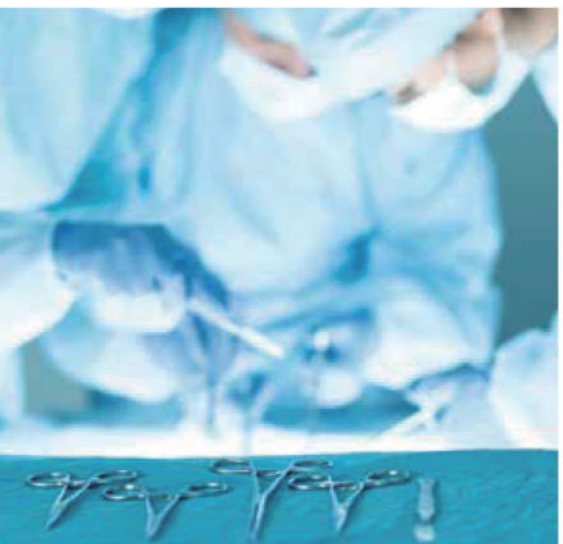
### 「アロパシー対ナチュロパシー」

今の西洋医療のやり方をアロパシーと言います。アロパシーは、目先対処の治療のこと。

つまり、症状をとれば良いという医療で、「対処療法」とも言います。この治療の根本的発想は、まさに、人間をロボットのように考え、部品交換的におこなうアログなやり方です。

功を奏す場合もあります。

例えば、白内障での手術、狭心症でのバイパス手術やステント挿入手術、心筋梗塞でのバイパス手術、不整脈でのアブレーション、網膜剥離でのレーザー光線、色々な手術、色々なクスリ対処<sup>TM</sup>。



しかし、このような対処療法は根本的な健康獲得とは全く無縁です。一時期は良くても、後々に、むしろ大変な病気に襲われます。いわゆる副作用だらけになった挙句、新たなもつと重い病気がやってくるのです。その時にはもはや対処療法では治りません。にっちもさっちも行かなくなっているケースが多いのです。

一方、根本的なやり方を「ナチュロパシー」と言います。原因を正し、腸の改善から治療するやり方をナチュロパシーと言うのです。悪い食事や悪いライフスタイルを改め、正常な排泄をして血液循環を良くすることから全身の体質を良くする方法です。

このナチュロパシーを使うやり方をやりますと、時間ばかりですが、何でも綺麗に根本的に治っていくのです。このナチュロパシーのやり方にクスリは使いません。クスリそのものが原因と考えるからです。クスリはまさにアロパシー的なやり方です。このナチュロパシーのやり方を行うのがアメリカのナチュラルハイジーングループです。

最近、アロパシーでは病気は治らないとして、ナチュロパシーに向かう人々が大変増えてきました。ナチュラルハイジーンを学び実践する医師が大変増えてきたからです。

「プラントリシャンプロジェクト」と言う、医師のみならず医療に携わる医療家を対象にした大会があります。1年に1度、4日間も勉強する講演を中心と



した大会です。アメリカで2013年に始まり、毎年開催されているナチュロパシーの会です。参加者はうなぎ登り。2013年は200人前後だったのに、年々増え2018年には1000人を越えました。その参加者の半分がアメリカ各地の医師たちです。

多くの医師がこの大会でナチュラルハイジーンのやり方を学び、アロパシーからナチュロパシーに転向し、患者を診るようになってきているのです。驚くべきことです。

イギリスも大きく医療がナチュロパシー的なやり方に変貌しました。これまた驚きです。